

凍結のおそれがあるときの処置

ヒーター付便器・水抜併用方式の場合

●次の手順で水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。(電源プラグは差し込んだままにしてください。)

① 水抜き栓を操作し給水を止める

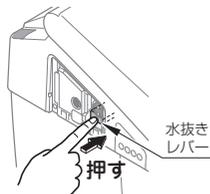
- 止水栓は開けたままにしておいてください。

② 配管の水を抜く

(P.15 給水フィルターの掃除【ウォシュレット側】②、③、⑤～⑦の手順を行ってください。)

③ ウォシュレット内の水を抜く

- ①水抜きレバー(灰色)を押し続ける
- ウォシュレット本体下側から水(40ml程度)が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約15秒かかります。
- ②手を離し、水抜きレバー(灰色)を元に戻す
- ③化粧カバーを取り付ける



(P.7 ③ 便器洗浄バルブ用コネクタの配線 ② 項参照)

④ タンクの水を抜く

すっきりパネル(右)裏側のラベル「タンク内水抜き作業手順」をご覧ください。

- 付属の水受けトレーを置く
- 「リモコン便器洗浄」スイッチの大を押す
- 便器側面の水抜きつまみを回してタンク内の水を抜く(水抜き後は、つまみを確実に締めてください。)

⑤ 電源プラグを抜く

⑥ 便器内の溜水を処置する

TOTO

施工説明書

ウォシュレット®

ネオレスト ハイブリッドシリーズ AH・RH

工事店様へ

※**ビルトインリモコンとビルトイン室内暖房はID設定をしないと動作しません。必ず設定を行ってください。** (10,11ページをご覧ください)

●自治体によって洗浄水量の規制がある場合、大洗浄4.8L、小洗浄4L、ECO小洗浄3.8L(壁排水リモデルの場合:大洗浄5.5L、小洗浄4.5L、ECO小洗浄4L)仕様を下記水量に変更することができます。

大洗浄5L、小洗浄4L、ECO小洗浄3.8L(壁排水リモデルの場合:大洗浄6L、小洗浄5L、ECO小洗浄4.5L)仕様にする場合

- ①ウォシュレット本体操作部の「運転」スイッチを押し「切」にする
 - ウォシュレット本体操作部のランプが全て消灯します。

- ②ウォシュレット本体操作部の「おしり」スイッチを「ビッ」という電子音が鳴るまで押す
 - 約10秒で電子音が鳴ります。

- ③設定後は「運転」スイッチを「入」にしてください。(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ビーツ」という電子音が鳴れば設定完了です。)



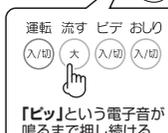
※機種によっては製品の形状などが異なります。

大洗浄8L、小洗浄6L、ECO小洗浄4.5L仕様にする場合(壁排水リモデルの場合も洗浄水量は同じになります。)

- ①ウォシュレット本体操作部の「運転」スイッチを押し「切」にする
 - ウォシュレット本体操作部のランプが全て消灯します。

- ②ウォシュレット本体操作部の「流す」スイッチを「ビッ」という電子音が鳴るまで押す
 - 約10秒で電子音が鳴ります。

- ③設定後は「運転」スイッチを「入」にしてください。(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ビーツ」という電子音が鳴れば設定完了です。)



- 開閉工具は施工後もとの位置に取り付けてください。
- ヒーター付便器の場合、付属の水受けトレーは使用後お客様にお渡しください。
- スティックリモコンの盗難防止用部品を使用しない場合は、お客様にお渡しください。
- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- 連立対応について(URL)http://buhin.toto.co.jp/「施工方法」の欄「ウォシュレット施工方法(リモコン連立対応など)」をご覧ください。

NEOREST HYBRID SERIES

はじめに	2
安全に関するご注意	2
取り付け前のご注意	2
同梱部品	3
各部のなまえ	3
・ウォシュレット本体・便器	3
・ビルトイン室内暖房	3
・フラットリモコン	4
・サウンドリモコン	4
・スティックリモコン	4
・ビルトインリモコン	5
施工手順	6

1 ウォシュレット本体を便器に仮置きする	6
2 給水ホースと分岐金具の接続	7
3 便器洗浄バルブ用コネクタの配線	7
4 ウォシュレット本体を便器に固定する	8
5 アース線の接続	8
6 電源プラグの確認	8
7 リモコンの取り付け	9

試運転	12
給水フィルターの掃除	14
凍結のおそれがあるときの処置	16

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

はじめに

施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください！

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

【絵表示の例】 してはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告	
	浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)
	指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない (火災や感電の原因になります。)
	水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
	給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
	車輦・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、故障などの原因になります。) (便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
	アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

注意	
	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない (水が噴き出します。)
	施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
	給水フィルターを取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

- 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
 - 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
 - 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はAH1:1286W、AH2・AH3:1381W、RH0・RH1:1286W、RH2・RH3:1381W(ヒータ付便器の場合はAH1:1326W、AH2・AH3:1421W、RH0・RH1:1326W、RH2・RH3:1421W)です。この電力に適した配線をしているか確認してください。
 - 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 - 給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
 - 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
 - 同梱以外の給水ホースを使わないでください。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
- サウンドリモコンの別売品のACアダプターコードの長さは約2.8mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置してください。

同梱部品

リモコン部品

フラットリモコンまたはスティックリモコンのいずれかが同梱されています。
※サウンドリモコンはサウンドリモコン付のみ同梱されています。
※ビルトインリモコンは手洗器、カウンター部材と同送されます。

フラットリモコン	スティックリモコン
リモコン リモコンハンガー	リモコン リモコンハンガー
サウンドリモコン(サウンドリモコン付のみ) 乾電池(単3形×4個)	取付説明書付 ※リモコンの盗難防止用部品が同梱されています。必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。
乾電池(単3形×3個) ※スティックリモコンの場合は2個のみ使用します。(1個は予備)	アンカープラグ(3本)

ビルトインリモコン ※ビルトインリモコンは手洗器、カウンター部材と同送されます。

ビルトインリモコン 化粧板 ねじ(2本) 施工説明書

ウォシュレット本体固定具

取付ボルト(2本)

化粧カバー

化粧カバー 塞ぎふた(ねじ付)

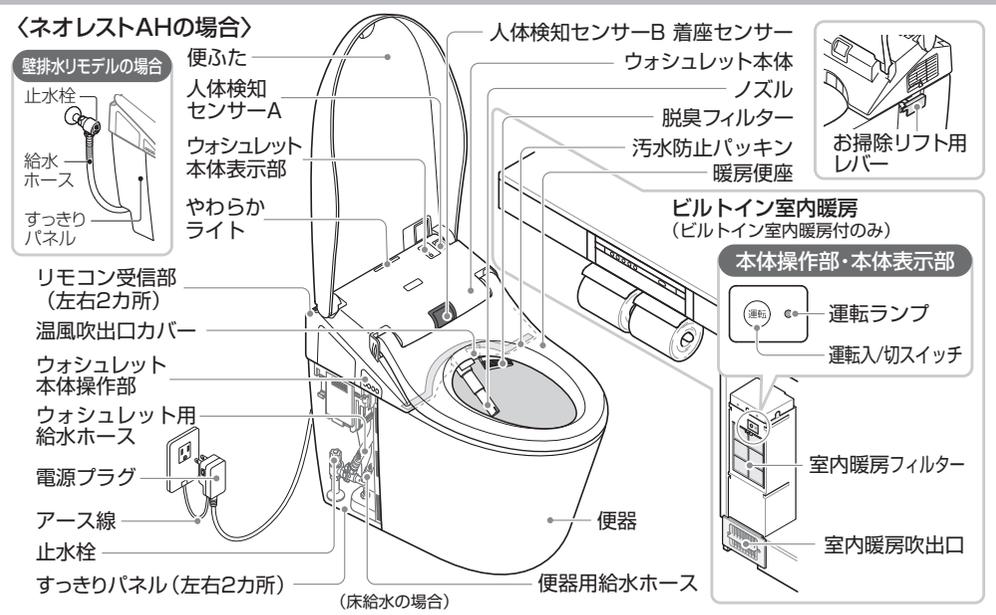
フレグランスセット
(AH2、AH3、RH2、RH3のみ)
※フレグランスセットは箱のままお客様にお渡しください。

取付説明書 トレー(1個)
フレグランスオイルシート(8枚)

印刷物

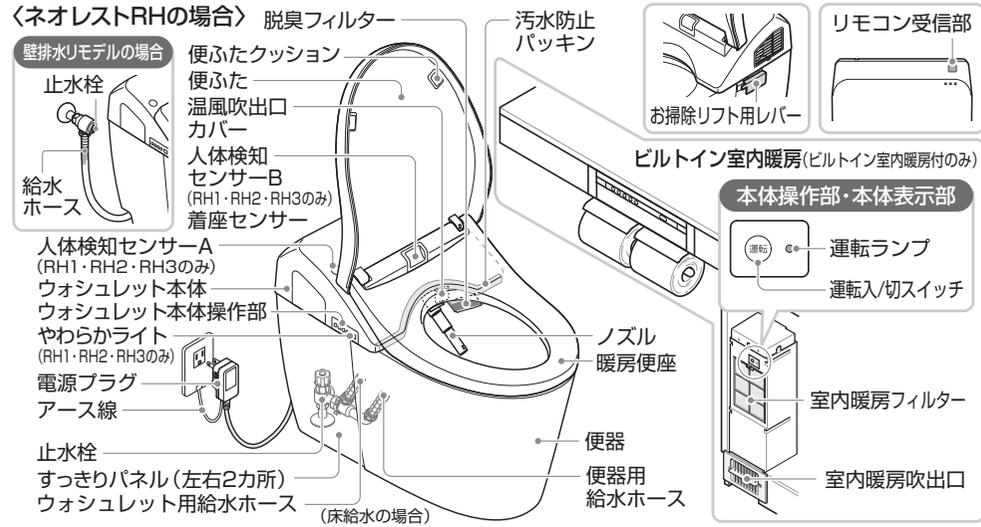
取扱説明書、サウンドリモコン用取扱説明書(サウンドリモコン付のみ)、施工説明書(本書)、使いかた説明シート(スティックリモコン・ビルトインリモコンのみ)、説明書、アンケート用紙、延長保証チラシ、申込用紙、通信販売カタログ、フック(スティックリモコン・ビルトインリモコンのみ)、点字シール(フラットリモコン・サウンドリモコンのみ)、便器洗浄ラベル(フラットリモコン・サウンドリモコン・スティックリモコンのみ)

各部のなまえ

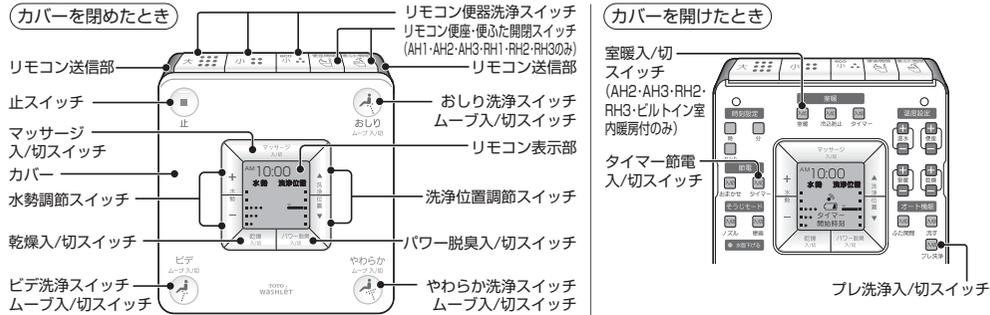


はじめに

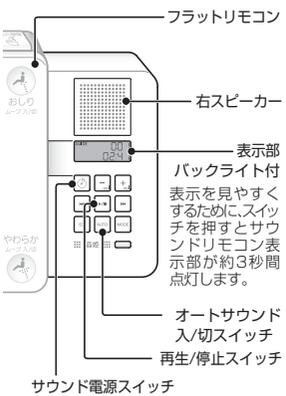
各部のなまえ(つづき)



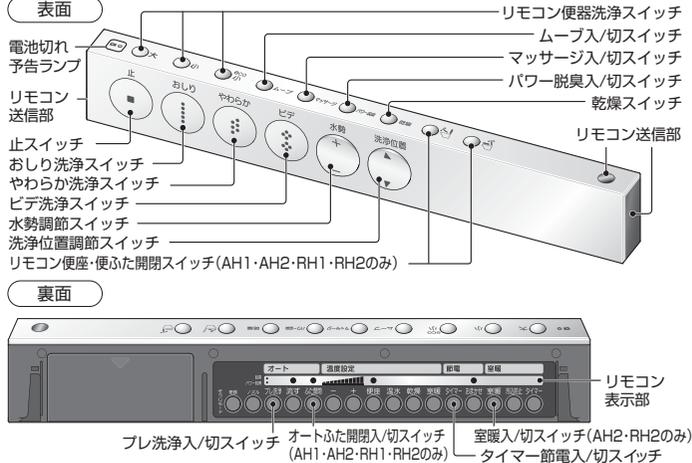
フラットリモコン (図はAH2・RH2)



サウンドリモコン



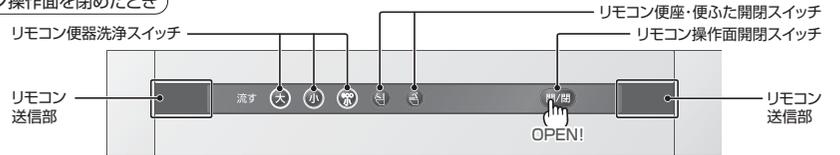
スティックリモコン (図はAH2・RH2)



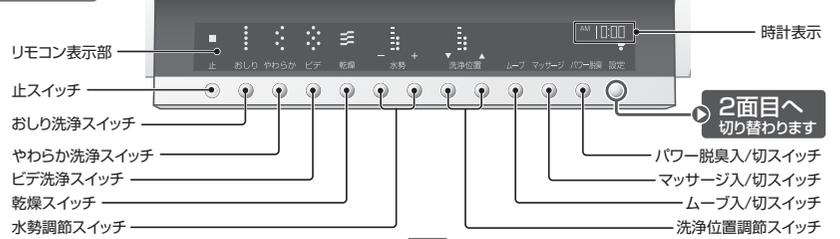
ビルトインリモコン

※図はID設定後のリモコン操作画面画面です。

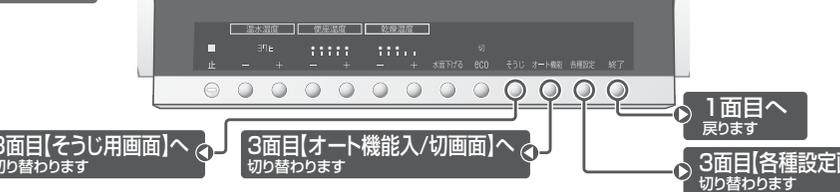
リモコン操作面を開けたとき



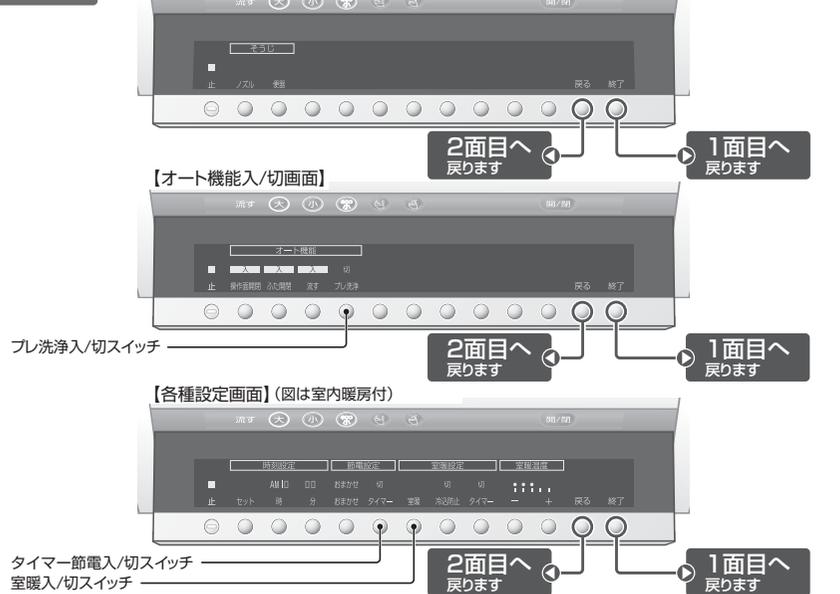
操作面1画面



操作面2画面

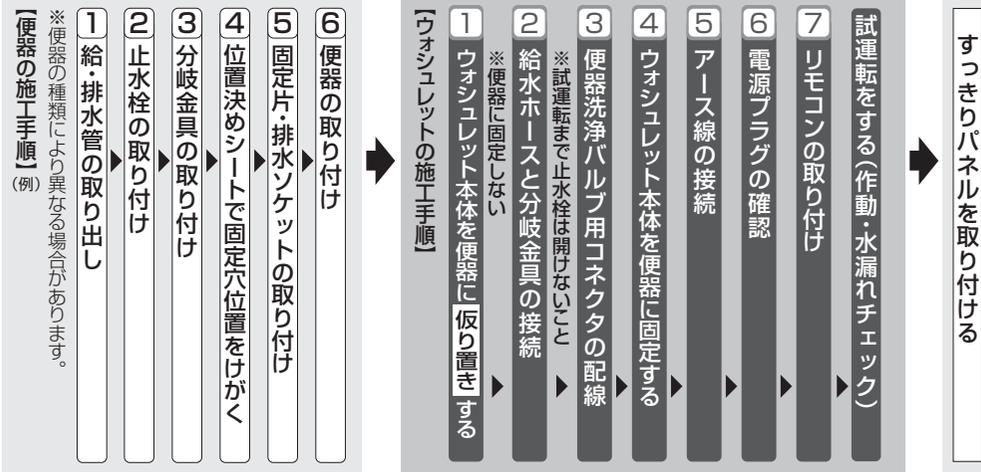


操作面3画面



施工手順 ※ウォシュレットの施工手順はネオレストAHのイラストで説明しています。

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けください。
( は本紙、 は便器部の施工説明書を参照してください。)



△注意

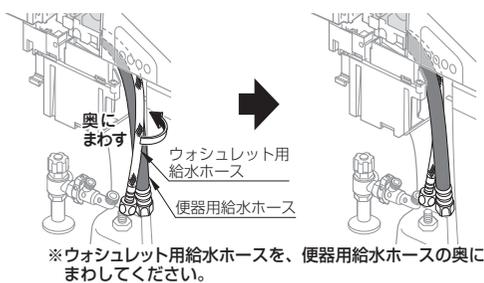
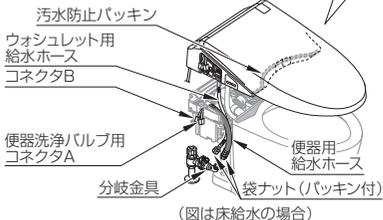
- ウォシュレット本体の給水ホースを接続する前に、便器洗浄つまみを操作しない(水が噴き出します。)
- 給水ホースをプレートの穴に通すとき、ホースが折れないように注意する(ホースが折れると水漏れの原因になります。)

1 ウォシュレット本体を便器に「仮置き」する

注意

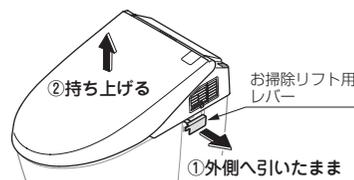
- ウォシュレット本体の固定は必ず給水ホースを接続した後に行ってください。
(先にウォシュレット本体を固定すると給水ホースの接続がしにくくなります。)
- 製品を便器に取り付けるときに便座・便ふたを持つと、はずれることがあります。

ウォシュレット本体と便器とを平行にし、真上から置く
※汚水防止パッキンのめくれ防止のためです。



仮置きしたウォシュレット本体をはずしたい場合

ウォシュレット本体を便器に置くとロックされます。ロック解除のため、お掃除リフト用レバーを外側に引いたまま両手で持ち上げてください。持ち上げるときにレバーに無理な力が加わらないよう注意してください。レバーは必ずもとにもどし、ウォシュレット本体が下がっていることを確認してください。

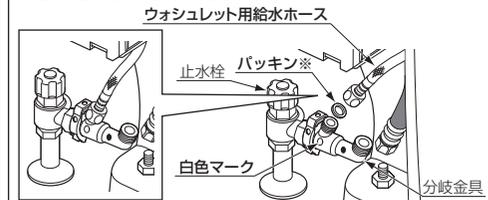


2 給水ホースと分岐金具の接続

- ①便器の取り付けで外向きに回転させた分岐金具を元にもどす
- ②給水ホースを分岐金具に確実に差し込む
- ③スパナで給水ホースの袋ナットを分岐金具に締め付ける
※パッキンが付いていることを確認してください。
※確実にセットされ、給水ホースが抜けないことを確認してください。

2-1 ウォシュレット用給水ホースの接続

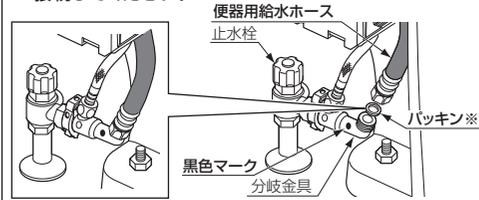
分岐金具にウォシュレット用給水ホースを接続する。
※分岐金具の白色マークとウォシュレット用給水ホースを合わせて接続してください。



※パッキンが袋ナットの内側にあることを確認してください。

2-2 便器用給水ホースの接続

分岐金具に便器用給水ホースを接続する。
※分岐金具の黒色マークと便器用給水ホースを合わせて接続してください。



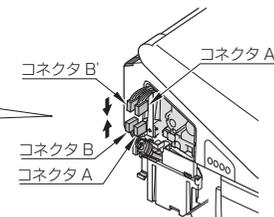
※パッキンが袋ナットの内側にあることを確認してください。

3 便器洗浄バルブ用コネクタの配線

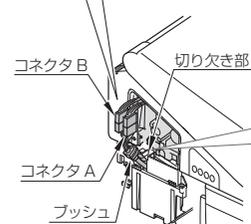
1 便器洗浄基板用コネクタを接続する

※コネクタを無理に引き出さないでください。

- ①コネクタA'、B'を引き出し、それぞれコネクタA、Bと接続する(無理に引き出さない)
※コネクタの接続が確実か再確認してください。

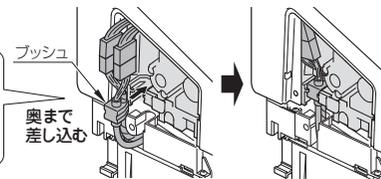


- ②接続したコネクタA、Bをウォシュレット本体の中に取りめる



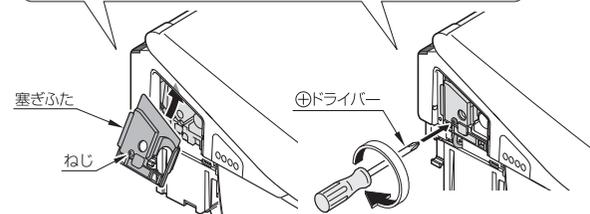
便器洗浄基板用コネクタ配線完成図

- ③プッシュを切り欠き部の溝にはめる
※プッシュは奥まで差し込んでください。

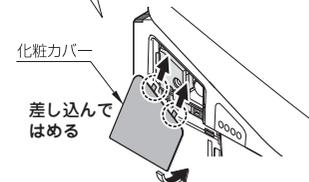


2 化粧カバーを取り付ける

- ①塞ぎふたを斜め下から差し込み、ねじで固定する



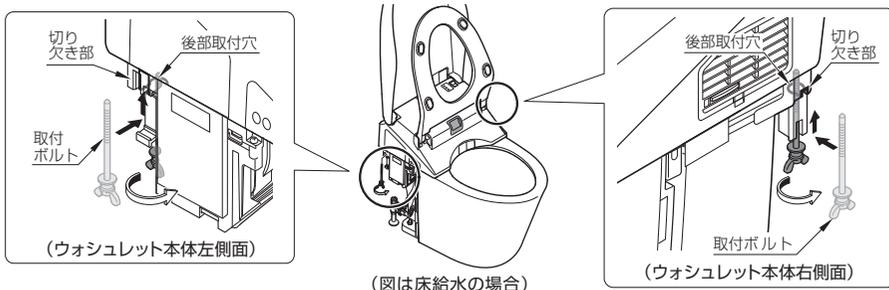
- ②化粧カバーを取り付ける



4 ウォシュレット本体を便器に固定する

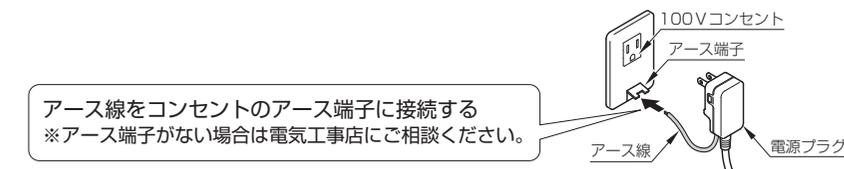
1 ウォシュレット本体を便器に固定する

- 便座・便ふたを開ける(傷防止および施工をしやすくするため)
- 後部切り欠き部から取付ボルト先端を内側へスライドさせて、後部取付穴へ差し込む(左右2カ所)



- 取付ボルトを手で締め付け、回らなくなるまで増し締めを行い、便器とズレないように確実に固定する

5 アース線の接続



6 電源プラグの確認

注意 (AH1・AH2・AH3・RH1・RH2・RH3のみ)

- 電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物に当たると次から便ふたが途中で止まる場合があります。(3回続けて開いた位置を記憶します。) 障害物を取り除いた状態で電源プラグを一度ははずしてもう一度差し込み、リモコンの「便ふた開閉スイッチ」を押してください。
- 電源プラグを入れてやわらかライトが約10秒～約60秒間点滅した後、便器に近づくと自動で便ふたが開きます。
- やわらかライトが点滅中(人体検知センサーA 準備中)は、便ふたは「オート開」しません。

1 電源プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む

- 温風吹出口カバーが開閉した後、ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

ヒーター付便器の場合(凍結のおそれがある場合のみ)

便器ヒーター用電源プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒーター用電源プラグに差し込んでください。

2 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

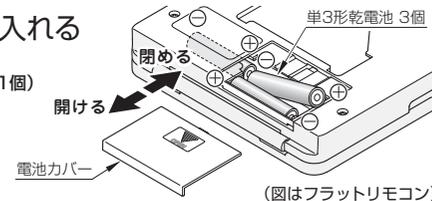
- 「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
 - 「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
- 以上のように作動すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

7 リモコンの取り付け

※サウンドリモコン付は、サウンドリモコンのハンガー部にリモコンを取り付けますので、リモコンハンガーは不要になります。

1 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる

- 乾電池は⊕⊖を確認して正しく入れてください。
- ※スティックリモコンの場合は電池を2個しか使いません。(予備1個)



2 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める (図はフラットリモコン)

【操作性の確認】

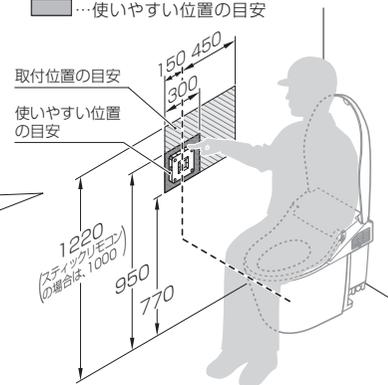
- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。
- ※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。スイッチを押してノズルが伸縮することを数回確認してください。

【作動の確認】

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、右図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

- ※フラットリモコンは下側に約170mmの空間を確保してください。(リモコンカバーを開けたときの干渉防止のため)
- ※サウンドリモコン(サウンドリモコン付のみ)の場合、左側に約20mmの空間を確保してください。(電池交換のため)

- 斜線...取付位置の目安
- 灰色...使いやすい位置の目安

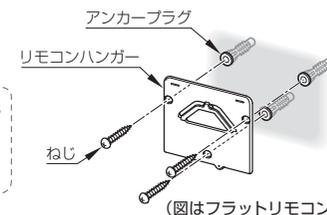


3 リモコンハンガー(またはサウンドリモコン)をねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

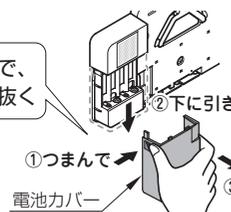
スティックリモコンには盗難防止用の部品が同梱されています。

- リモコンを固定する場合に使用してください。取付方法は同梱の説明書をご覧ください。(必ずお客様の要望を聞いてから、作業してください。)

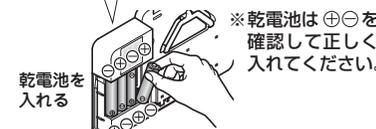


4 サウンドリモコン(サウンドリモコン付のみ) 乾電池の場合

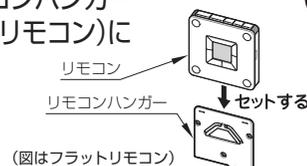
- 電池カバーをつまんで、下に引き手前に引き抜く



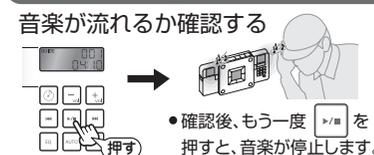
- 単3形乾電池4個を入れ電池カバーを取り付ける



5 リモコンをリモコンハンガー(またはサウンドリモコン)にセットする



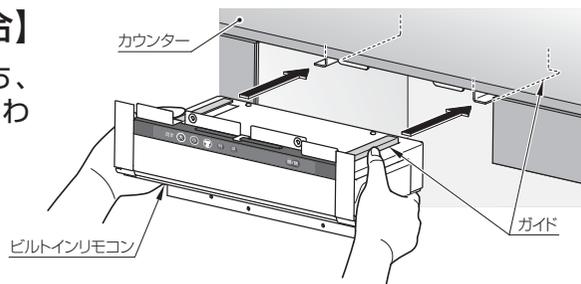
6 サウンドリモコン(サウンドリモコン付のみ) 音楽が流れるか確認する



【ビルトインリモコンの場合】

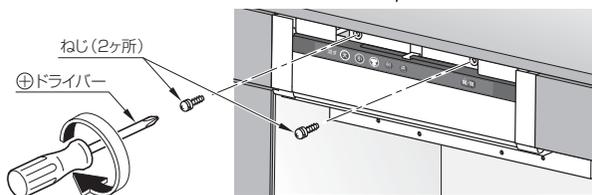
① ビルトインリモコンを持ち、カウンター裏のガイドに合わせはめ込む

※ビルトインリモコンや化粧板は表面がデリケートなため傷つきに注意してください。



② 同梱のねじで取り付ける

※ナベ小ねじは硬くなるまでしっかり締めつけてください。電動ドライバーは使用しないでください。

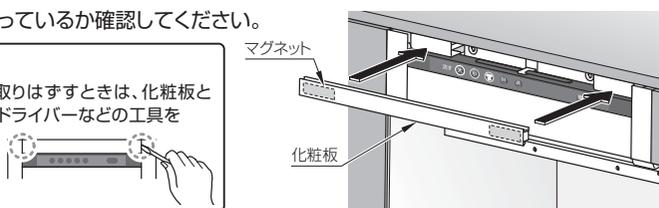


③ 化粧板を取り付ける

●化粧板が左右同じ高さになっているか確認してください。

化粧板のはずしかた

施工のやり直しなどで化粧板を取りはずすときは、化粧板とビルトインリモコンのすき間に⊖ドライバーなどの工具を差し込み、取りはずしてください。



④ 電源プラグをコンセントに差し込む

●ビルトインリモコンが光っていることを確認してください。



ビルトインリモコンのID設定

※設定をしないとビルトインリモコンは動作しません。
必ず下記の設定を行ってください。

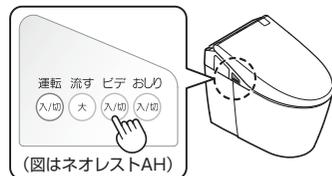
●ウォシュレット本体の電源とビルトインリモコンの電源を入れてください。

① ウォシュレット本体側の送信機をID設定状態にする

●ウォシュレット本体操作部の **ピデ** (入/出) を10秒以上押す

●ID送信設定状態になるとウォシュレット本体から「ピッ」という電子音が鳴ります。

※設定状態は約60秒間です。時間内に②の操作を行ってください。



② ビルトインリモコンをID設定状態にする

① ビルトインリモコンの **開/閉** を押す



② **ピデ** を10秒以上押し続ける

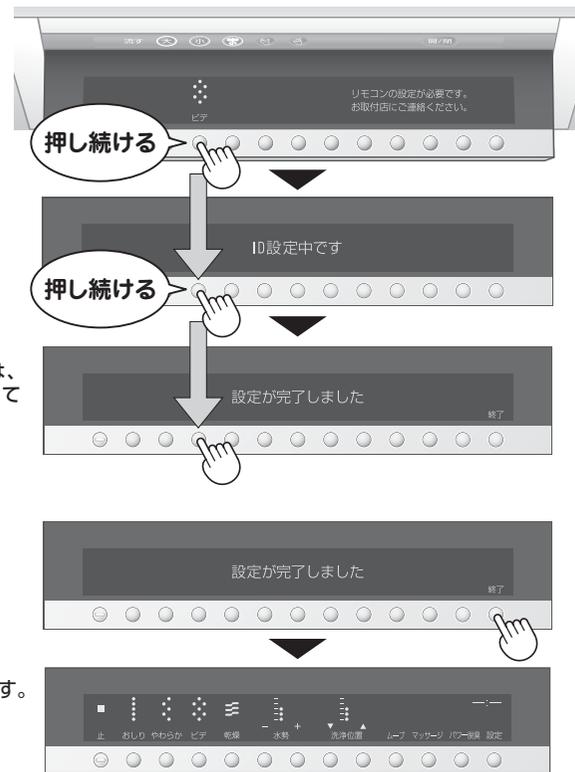
●ウォシュレット本体とビルトインリモコンのIDが正常に設定されると液晶画面に「設定が完了しました」と表示されます。

押し続ける

※この画面にならないときは、もう一度最初からやり直してください。

③ **終了** を押す

●画面が右図のように表示されます。



ビルトイン室内暖房のID設定(ビルトイン室内暖房付のみ)

※設定をしないとビルトイン室内暖房は動作しません。
必ず下記の設定を行ってください。

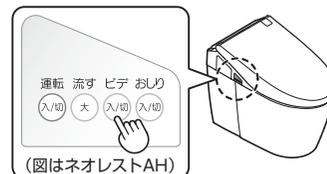
●ウォシュレット本体の電源とビルトイン室内暖房の電源を入れてください。

① ウォシュレット本体側の送信機をID設定状態にする

●ウォシュレット本体操作部の **ピデ** (入/出) を10秒以上押す

●ID送信設定状態になるとウォシュレット本体から「ピッ」という電子音が鳴ります。

※設定状態は約60秒間です。時間内に②の操作を行ってください。



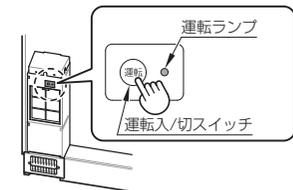
② ビルトイン室内暖房をID設定状態にする

① ビルトイン室内暖房本体の「運転」ランプ(緑色)が点滅していることを確認する

② ビルトイン室内暖房本体の **運転** を10秒以上押し続ける

●ウォシュレット本体とビルトイン室内暖房のIDが正常に設定されると「運転」ランプ(緑色)が点灯します。

※「運転」ランプ(緑色)が点灯しない場合はもう一度最初からやり直してください。



試運転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

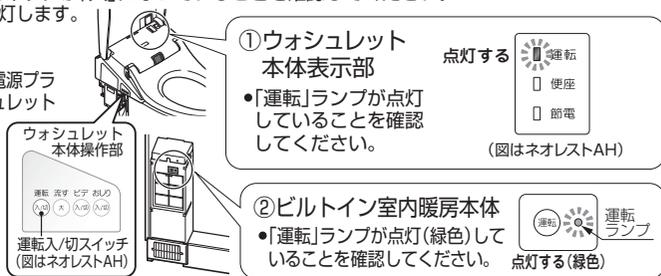
●試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。

「入」のときは下記「運転」ランプが点灯します。

- ①ウォシュレット本体表示部
 - ②ビルトイン室内暖房本体
- 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでウォシュレットやビルトイン室内暖房は作動しません。

●お掃除リフト用レバーがもとの位置に収納され、ウォシュレット本体が上がないことを確認してください。

※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。



1 水漏れの点検

- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認します。
 - ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認します。
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

ウォシュレット用止水栓

- 化粧カバーをはずし、全開になっているか確認してください。



止水栓

- 全開になっているか確認してください。



壁給水の場合



壁排水モデルの場合
※開閉工具は、すっきりパネル(左)の裏側にあります。

水漏れチェック

水漏れチェック

2 機能の確認

●リモコンスイッチのなまえやスイッチの場所は **各部のなまえ** を確認してください。

1 電源プラグが入っていることを確認する

2 リモコン便器洗浄機能を確認する

- 「リモコン便器洗浄」スイッチの大・小・ECO小を押す → 便器の水が流れますか？
- 一度「リモコン便器洗浄」スイッチを押すとタンクに水が溜まるまで約30秒かかります。その間はすべてのスイッチを押さないでください。
- 給水完了後、もう一度「リモコン便器洗浄」スイッチを押して便器洗浄の確認を行ってください。

※タンク給水中は、ウォシュレット本体操作部のランプが点滅・点灯します。

3 オートプレ洗浄を確認する

- リモコンの「オートプレ洗浄入/切」スイッチを「入」にします。

4 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。検知した状態になるとやわらかライトの光が明るくなります。(AH1・AH2・AH3・RH1・RH2・RH3のみ) またノズル付近から数秒間水が出ます。(便座を閉めないと着座センサーははたらきません。)

- 便器ポウル面に少量の水が流れますか？確認後、リモコンの「オートプレ洗浄入/切」スイッチを「切」にしてください。

※白紙をおおっている間にウォシュレット本体表示部のランプが消えることがあります。

5 脱臭機能を確認する

- ウォシュレット本体右側面の吹出口より風が出ていますか？



2 機能の確認(つづき)

6 パワー脱臭機能を確認する

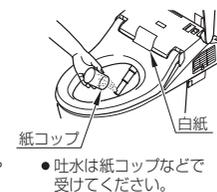
- ①「パワー脱臭」スイッチを押す → 脱臭音が大きくなりますか？
- ②もう一度、「パワー脱臭」スイッチを押す → 通常の音に戻りますか？

7 洗浄機能を確認する

- ①「おしり洗浄」「やわらか洗浄」「ビデ洗浄」スイッチを押す → ノズルから適温の温水が出ますか？

※水が出ないときは P.7 ② 給水ホースと分岐金具の接続を確認してください。

- ②「水勢調節」スイッチのプラス・マイナスを押す → 水勢が変化しますか？
- ③「止」スイッチを押す → 温水が止まりますか？



●吐水は紙コップなどで受けてください。

8 乾燥機能を確認する

- ①「乾燥」スイッチを押す → ノズルの右側から温風が出ますか？
- ②「止」スイッチを押す → 温風が止まりますか？



9 室内暖房機能を確認する(室内暖房付のみ)

【フラットリモコン・スティックリモコンの場合】

- 「室暖入/切」スイッチを押す → ウォシュレット本体の右側から温風が出ますか？
- 再度「室暖入/切」スイッチを押す → 約10秒後に温風が止まりますか？
- 室温より設定温度が低い場合は約20秒間風が出て止まります。



【レストルームドレッサーシステムシリーズの場合】

- ①ビルトイン室内暖房本体の「運転」ランプ(緑色)が点灯していることを確認する
- ②リモコンの「室暖入/切」スイッチを押す → キャビネットの下側から温風が出ますか？
- ③もう一度リモコンの「室暖入/切」スイッチを押す → 約10秒後に温風が止まりますか？
- 室温より設定温度が低い場合は約70秒間風が出て止まります。



10 暖房便座機能を確認する

- 便座が温まるまで約15分かかります。

11 着座センサーを白紙でおおった後、白紙をはずす

- 白紙をはずすとやわらかライトの光が少し暗くなります。(AH1・AH2・AH3・RH1・RH2・RH3のみ)
- ※約30秒間ノズルが少し出た状態で少量の水が出ます。
- ノズル収納後、温風吹出口カバーが少し開いて閉まります。

12 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約2分後に自動で止まりますか？

13 オート便器洗浄機能を確認する

- 白紙をはずして約5秒後に自動で便器洗浄しますか？
- 男子小用時オート便器洗浄の確認 (RH0は男子小用時オート便器洗浄機能がありません。): 便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動で便器洗浄しますか？
- ※便器の水の流れが悪い場合は、給水圧が低い可能性があります。そのときは便器部の施工説明書に従って給水圧を調べてください。

14 リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する

- 「便座・便ふた開閉」スイッチを押す → 便座・便ふたが開閉しますか？(AH1・AH2・AH3・RH1・RH2・RH3のみ)

15 便ふたオート開機能を確認する (RH0は便ふたオート開機能がありません。)

- 便ふたが開まり約10秒後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか？
- ※便ふたが自動で開かない場合は体を動かしてみてください。

16 ビルトインリモコン操作面開閉機能を確認する(ビルトインリモコンの場合のみ)

- 開閉**を押す → ビルトインリモコン操作面が開閉しますか？

17 ビルトインリモコン操作面オート開機能を確認する(ビルトインリモコンの場合のみ)

- 便器に近づいてから約10秒後、ビルトインリモコン操作面が自動で開きますか？
- ※ビルトインリモコン操作面が自動で開かない場合は、一度便器から離れた後、もう一度近づいてみてください。



2 機能の確認(つづき)

18 便ふたオート閉機能を確認する (RHOは便ふたオート閉機能がありません。)

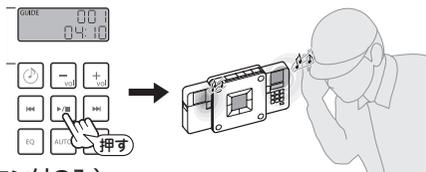
- 便ふたが開いた後便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まりますか？

19 ビルトインリモコン操作面オート閉機能を確認する (ビルトインリモコンの場合のみ)

- 便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後にビルトインリモコン操作面が自動で閉まりますか？

20 サウンドリモコン機能を確認する (サウンドリモコン付のみ)

- ① ② を押してリモコンを「入」にする
- ② 約10秒後 ③ を押す → 音楽が流れますか？
- ③ 確認後、もう一度 ③ を押す → 音楽が停止します。



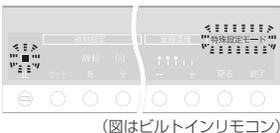
21 オートサウンド機能を確認する (サウンドリモコン付のみ)

- ① 便ふたを開いて ② を押してリモコンを「入」にする
- ② ③ を「入」にして便器の前に立つ → 音楽が流れますか？
サウンドリモコンの表示部に「AUTO」が表示されます。
- ③ 確認が終わったらもう一度 ③ を押し、「切」にしてください。



22 流動による凍結予防の確認をする

- 次の操作により一定の間隔で水を流して凍結予防します。
- ① リモコンの「止」スイッチを10秒以上押す(表示部が点滅するまで押してください)。
フラットリモコン・スティックリモコンの場合は、リモコンの表示部がすべて点滅します。
ビルトインリモコンの場合は、「止」と「特殊設定モード」のみ点滅します。
- ② リモコンの「タイマー節電入/切」スイッチを押す
ウォシュレットがリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。
- ③ もう一度「止」スイッチを押して下記の内容を確認する
ウォシュレット本体の「運転」ランプが点滅しますか？
約5分後にノズルの根元から水が出ますか？
さらに約5分後に便器洗浄しますか？
- ④ 確認が終わったら再度①～③の操作を行い、②で「ピーッ」という電子音が鳴ることを確認してください。(凍結予防をやめます)。
ウォシュレット本体の「運転」ランプが点滅から点灯に変わりますか？
※必ず運転ランプを点灯の状態にしてください。



給水フィルターの掃除

給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

【便器側】

1 止水栓を閉めて給水を止める

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押し、ノズルを伸出させた後、もう一度「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してください。(給水管内の圧抜きです。)

【注意】

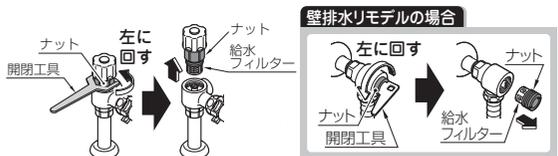
- 止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない(水が噴き出します。)



2 電源プラグを抜く

3 止水栓のナットを開閉工具で開けて給水フィルターを取り出す

- 開閉工具は、すっきりパネル(左)の裏側にあります。



4 給水フィルターを取り外し掃除をする

- 小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。

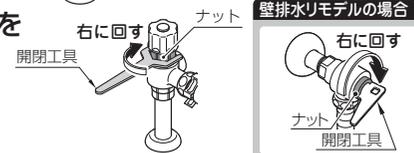


5 給水フィルターを元の位置に取り付ける



6 止水栓を元の位置に取り付け、ナットを開閉工具で締め付ける

- 【注意】 ナットが回らなくなるまで確実に締める(確実に締めないと水漏れの原因になります。)



7 止水栓を開ける

- 止水栓および配管接続部から水漏れしていないか確認してください。



8 電源プラグを差し込む

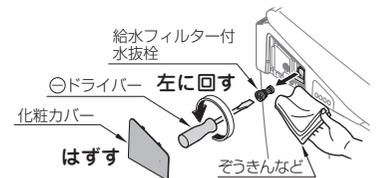
【ウォシュレット側】

1 止水栓を閉めて給水を止める

2 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押し、ノズルを伸出させる

- (給水管内の圧抜きです。)

3 化粧カバーを取りはずし、給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす



4 フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ※ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



5 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める

- ※ノズルが戻っている場合は、給水フィルター付水抜栓を押し込む前に、もう一度「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルを伸出させてください。



6 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押し、ノズルを元に戻す

- 【アドバイス】 便座を開けている時や、ノズルの掃除後に便座を開めると、ノズルが戻った後、残水を抜くためにもう一度ノズルが出てきます。約30秒後にノズルは戻ります。

7 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部と給水ホースの袋ナット部からの水漏れがないことを確認する

- (止水栓の開けかたは P.15 「給水フィルターの掃除」【便器側】7 項参照)

8 化粧カバーを取り付ける

- (P.7 3 便器洗浄バルブ用コネクタの配線 2 項参照)